

2021年「日本ITU協会創立50周年 各賞」受賞

日本ITU協会は2021年9月1日に創立50周年を迎え、「日本ITU協会創立50周年記念式典」を完全リモート開催しました。この式典において、電波企画室の橋本 明が総務大臣賞，日本ITU協会創立50周年特別賞および感謝状を，ドコモ・テクノロジーの尾上 誠蔵が日本ITU協会創立50周年記念賞を受賞しました。

橋本は，1980年より継続的にITU-R (International Telecommunication Union-Radio communication sector) における標準化活動に参加し，研究委員会，無線通信総会などの議長職を歴任するとともに，さまざまな地上無線通信システムの国際標準化活動で多大な貢献をしました。特にITU-R SG5 (Study Group 5) 議長時代には，第4世代移動通信システム無線インタフェース勧告（勧告 ITURM.2012）の議論を主導し，タイムリーに完成させました。この勧告は，全世界で45億人以上が利用するLTE-Advancedシステムの技術規格を含んでおり，現在



(右上) 橋本 明



尾上 誠蔵

に至る世界の無線通信市場の拡大と利便性向上に大きく貢献しています。さらに，2018年にはITU無線通信規則委員会（RRB：Radio Regulations Board）の委員に選出され，現在も無線通信に関する世界的な規律の維持向上に多大な貢献をしていることが認められ，総務大臣賞および日本ITU協会創立50周年特別賞を受賞しました。

尾上は，移動通信分野の研究開発において，卓越した技術力・指導力により，第3世代から第4世代に至る移動通信システムの実用化および国際標準化に多大な貢献をしました。第4世代移動通信システムにおいては，第3世代からの円滑な世代移行が求められる中，Super3Gコンセプト（後のLTE（Long Term Evolution））をいち早く提唱し，3GPP（3rd Generation Partnership Project）におけるLTE/LTE-Advanced標準仕様を完成させ，最終的に第4世代移動通信システム無線インタフェース勧告（勧告 M.2012）に盛り込まれました。本技術は今日の情報社会に欠かすことのできないものであり，これをなした多大な貢献が認められ日本ITU協会創立50周年記念賞を受賞しました。

本誌に掲載されている社名，製品およびソフトウェア，サービスなどの名称は，各社の商標または登録商標。

